

## 社会情勢の変化等を踏まえた下水道事業の持続性向上に関する検討会

### 趣旨

国土交通省は、「循環のみち」という方向性を目指し、「循環のみちの『持続』と『進化』」を2つの柱とした長期ビジョン、また、その実現に向けた今後10年程度の目標及び具体的な施策を示した中期計画で構成される「新下水道ビジョン」を平成26年に策定した。

さらに、「新下水道ビジョン」の実現加速のため、コンセッションをはじめとする官民連携、下水汚泥のエネルギー利用、本格的な海外輸出の実施など、選択と集中により5年程度で実施すべき施策をとりまとめた「新下水道ビジョン加速戦略」を平成29年に策定し、各施策を着実に進めているところである。

これまでに策定した「新下水道ビジョン」や「新下水道ビジョン加速戦略」を踏まえるとともに、今後の社会情勢の変化、特に、厳しい財政状況や執行体制を前提として、下水道事業の持続性の向上を図っていく観点から、より効果的・効率的な国の支援の方向性について検討を行うものである。

### 進め方のイメージ

平成30年9月 第1回 下水道事業の経緯・現状、論点整理等

平成30年11月上旬 第2回 今後の国の支援の方向性（たたき台）

平成30年12月頃 第3回 中間とりまとめ

平成31年1～3月頃 第4回 とりまとめ

# 社会情勢の変化等を踏まえた下水道事業の持続性向上に関する検討会

## 構成員名簿

平成30年9月現在  
(敬称略)

### 【委 員】

足立 泰美 甲南大学経済学部准教授

井出 多加子 成蹊大学経済学部教授

浦上 拓也 近畿大学経営学部教授

桐野 真二 岡山市下水道河川局長

田口 秀男 秋田県建設部下水道課長

花木 啓祐 東洋大学情報連携学部教授

藤原 拓 高知大学教育研究部自然科学系農学部門教授

### 【オブザーバー】

坂越 健一 総務省自治財政局準公営企業室長